

2022 こもれび



2022年6月10日/207号



幼稚園 048(794)3104

HPアドレス  
http://wakuwaku-dokidoki.com

＜添付手紙＞  
・プールについて(全園児)

行事予定

- 14日(火) ヒーカブーラッコクラブ
- 16日(木) お菓子作り
- 17日(金) 誕生会

🍊 キャンプについて

7/26(火)・27日(水)  
予備日 28日(木)

※キャンプ場予約の都合で日程が前倒しになります。デイキャンプのお泊まりかは検討中です。

今年のは裏の年。収穫は8個でした。



集中力は夢中になって遊ぶことから

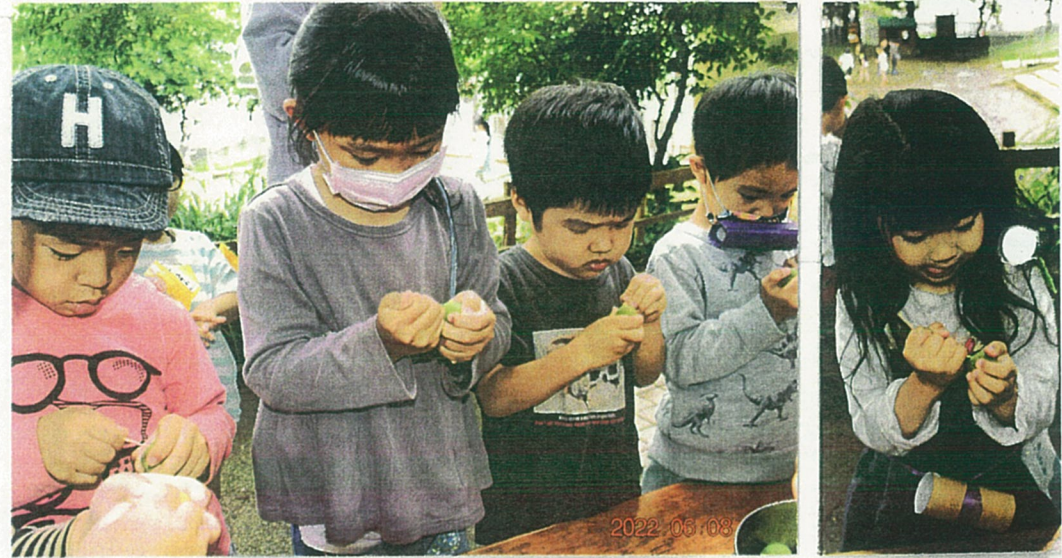
金曜日の電にはびっくりしましたね。園の畑の野菜にも被害がありました。皆様のご家庭は大丈夫でしたでしょうか。不安定な天候が続く、そのまま梅雨に突入。これから1ヶ月近くインドア生活が多くなりますが、エネルギーに溢れた子どもたちをどう発散させてあげられるかが保育の課題です。さて、今回は遊びと集中力について、エピソードをもとに記してみたいと思います。

原っぱ遊びといえば虫探し。先週の遠足でも牛乳パックにたくさんのお虫やミズを捕まえて嬉しそうに見せてくれました。園庭でも虫とり網を片手にちょうちょを追いかけて、草むらのダンゴムシを夢中になって探し回っています。見かけない虫は早速図鑑でチェック。捕まえるのが上手な子、虫の生態をよく知っている子など、虫博士も育ちつつあります。

かつて、こんなエピソードがありました。あるお母さんと立ち話をしていた時、卒園児の2年生のお兄ちゃんの学校での様子が話に及びました。Yくんは無類の虫好きで、いつも牛乳パック片手に虫探しにいそいそしていました。彼の頭の中は虫のことで一杯。そんな姿をお母さんは随分と心配なさっていて、もっと他の事にも関心を持ってほしいと相談を受けた事もありました。お母さんの願いはもっともな事だと思いました。

私はYくんがこれほどまで夢中になれる事がある事は素晴らしい事、この集中力はきっと学習面でもプラスになるはずとお答えしたのを覚えています。実際Yくんの虫にかける情熱はすば抜けていました。そこで今でもYくんの虫好きは続いているのかと尋ねると、今はあの頃ほどではないのですが、校内の絵画展でカマキリの絵で金賞をもらったとおっしゃるのです。幼稚園時代に虫とりで明け暮れ、虫をよく観察していた力が絵画という表現の場で発揮されたのです。それともひとつ、息子は字もよく書けないで小学校へ行ったのですが、硬筆展でも賞をいただいたというのです。あなどるなかれ、Yくんは虫とりで夢中になるという生活の中でも集中力を確実に身につけていたのですね。

私は良かったですね、本当に嬉しいと思わずお母さんの手を握りしめました。3・4・5歳のこの時期は好きな事を見つけ、夢中になって遊ぶ事が大切と折りに触れ伝えてきましたが、たかが遊び、されど遊び、目には見えないけれど、たくさんの方が育てられている、それが幼児期の遊びなのだと思感しました。(園長)



2022.05.08

梅仕事 ~ 梅シロップ作り ~

ようじでフスフスと... (6/8)



2022.06.08